

東建パブリニューズ

平成30年 8月23日

経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載

平成30年 5月15日 刀剣界 P. 8

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。



東建コーポレーション本社1階のコレクションルーム

左石田さんは愛知県岡崎市生まれ。織田信長や豊臣秀吉・徳川家康などが天下統一を目指し覇権を競った古戦場が近隣に点在していたため、少年時代から武将たちの足跡を追って、何度も激戦の地を訪れていたそうです。

同社は現在、さまざまなスポーツ・文化を支援し、その振興に貢献しています。その

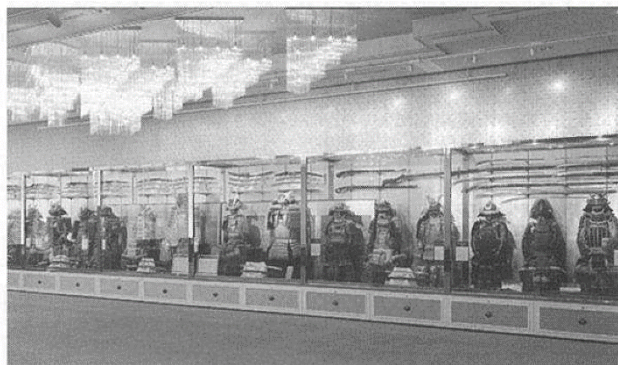
はあくまで防御を旨としながらも限りなく華麗であり、戦場において自己を顕示する兜の前立などには、現代のデザインナー顔負けの斬新さを見ることが出来ます。

姿を誇示することも、場合によっては死に装束ともなるものです。そこで、身分の高い武将が着用する甲冑は、贅の限りを尽くした入念な制作となっています。

そこには染織・漆芸・皮革・金工など千年以上も連続と続く工芸技術が結集されており、総合芸術の粋とも言つべきものです。甲冑

NEWS & TOPICS

東建コーポレーションが 二カ所に甲冑・刀剣展示室を開設



ホテル多度温泉レジデンス新館の展示室

中に、伝統の美と技を伝える甲冑や刀剣を取り上げることには、未来を生きる子供たちが飛躍の糧にしてほしいという願いが込められており、創業以来の理念に基づき芸術文化事業の大きな柱となっています。

東京オリンピック・パラリンピックの開催直前の二〇二〇年六月には、同社の運営による美術刀剣博物館「刀剣ワールド」が、名古屋市内に開館する予定です。今後開催される展覧会企画にも注目していきたいと思えます。

(嶋田伸夫)